

登録日 2016/7/26

登録番号 Sar004

腫瘍名 肉腫

申請診療科 産婦人科

### 投与スケジュール

Eribulin				21日毎×PDまで				
				1コース		2コース		(day)
				1	8	22	...	
①	デキサート	6.6 mg	点滴 15分	↓	↓	↓		
	生理食塩水	50 mL		↓	↓	↓		
②	ハラヴェン	1.4 mg/m <sup>2</sup>	点滴 5分	↓	↓	↓		
	生理食塩水	50 mL		↓	↓	↓		
③	生理食塩水	50 mL	点滴 5分	↓	↓	↓		
	フラッシュ			↓	↓	↓		

### 注意事項

【適応】肉腫

【減量、中止基準】

- ・各投与日の基準: 好中球数:  $\geq 1000/\text{mm}^3$ 、血小板:  $\geq 75000/\text{mm}^3$ 、非血液毒性:  $\leq \text{Grade}2$
- ・上記の基準を満たさない場合、Day1は延期する。
- ・Day8で上記を満たさない場合は延期して上で、①または②の条件に従って対応する。
  - ①1週間以内に回復 ⇒ Day15に減量して投与(次コースは2週間以上間隔を空ける)
  - ②1週間以内に未回復 ⇒ 次コースまで休薬

【2サイクル目以降の減量基準】(目安の用量:  $1.4\text{mg}/\text{m}^2 \Rightarrow 1.1\text{mg}/\text{m}^2 \Rightarrow 0.7\text{mg}/\text{m}^2 \Rightarrow$  投与中止)

前サイクルで下記の副作用などが発現した場合、減量した上で投与する。

- ・7日を超えて継続する好中球減少 ( $< 500/\text{mm}^3$ )
- ・発熱または感染を伴う好中球減少 ( $< 1000/\text{mm}^3$ )
- ・血小板数減少 ( $< 25000/\text{mm}^3$ )
- ・輸血を要する血小板数減少 ( $< 50000/\text{mm}^3$ )
- ・Grade3以上の非血液毒性
- ・副作用などにより2週目に休薬

【別途、減量基準】

- ・乳がんにおける使用では、肝障害、末梢神経障害時に減量・休薬基準があるので参考にして、適宜、対応する(DINETから乳がん適正使用情報を参照)

【その他】

- ・無水エタノールを含有するため、アルコール過敏な方への投与に注意を要する(禁忌ではない)。
- ・用量規制因子(DLT): 好中球減少、発熱性好中球減少症
- ・安定性: 調整後・室温: 6時間以内・冷蔵: 24時間以内は安定
- ・5%ブドウ糖注射液で希釈しない(反応生成物が認められたため)

### 参考文献

・Schöffski P, et al, Eribulin versus dacarbazine in previously treated patients with advanced liposarcoma or leiomyosarcomatrical.:

a randomised, open-label, multicentre, phase 3 trial.Lancet. 2016 Apr 16;387(10028):1629-37.

・ハラヴェン添付文書・適正にご使用いただくためのガイドブック